

水源禪師法話集 88

(2018年5月2日 山梨合宿6日目)

2019年3月5日

一乗禪の会



ボルブドゥール遺跡にて

目次

水源禅師法話

苦行が苦行と感じられない状態が起こると苦行でなくなる.....	3
修行での禁欲と妻帯者の出家.....	4
二つの society ソサエティに分かれている修行.....	4
日本は天国みたいな修行道場.....	5
月の半径から私達が無明である事を説明している.....	6
「仏説・般若心経」はアビダンマの題目を唱えている.....	9
全て因縁によって発生した修行の道.....	11
韓国のお寺でのおもてなし.....	11
旅して初めてわかる仏教の極意、仏教は体感しかない.....	12
コンピューターは涅槃に行けない、頭に詰め込んでも無駄、体験のみ.....	13
南伝の 12 因縁と大乘の 27 の分析.....	14
非常に重要な N027 の正見.....	15
ダンマを調べて行けばマハヤナもテーラワーダも殆んど一致してしまう.....	15
ドライラマ法王は全てのカギを持っている.....	16
20年の行を終えブータンから南下してパオの本部へ辿り着く禅師.....	16
日本語で説明出来るけど、こういう話は滅多に聞けない.....	17
命を懸けたも国民を守らなければならない政治家、今は全く逆.....	18

質疑応答

一円相がずーっと無限に広がった場合過去にブッダに会ったという事.....	19
一円相からホワイトカシナの瞑想に、スケルトン瞑想から ジャーナへ入って行く.....	20
修行を終えて指導するには実証が必要、文献ばかり教えたら完全に偽物.....	20
正見を持つ為には「空」を観るという事、その際先生がいなければ、.....	21

水源禪師法話

苦行が苦行と感じられない状態が起こると苦行でなくなる

昨日言った事でおさらしたいと思えますけれども、質問ありますか？

昨日は苦行と言う事で、デバダッタの五法の苦行と、それから、「ドゥタンガ」というお釈迦様の苦行、でも仏教の方針は、中道と言ってきつい苦行でもなく、又全然しない、こう御経を唱えるだけでもないと。

タパスと言って瞑想という事が非常に大事であるとお釈迦様の時代に言われていましたけれども、その後、色んな宗派があって、やはり人間苦行が好きなのですね。苦行すれば精神的にこう進化すると。お釈迦様はそれとは違いますが、過去の体験より言っているけれども、やっぱりなかなか人間は苦行する事が何か素晴らしいという風な特質があるみたいですね。

私の体験上苦行が苦行と感じられない状態が起こります。その事だと思えますね。というのは、私は在家でやっていて、今思えばそうしたいからしたのであってね、こう真夜中起きてそれで瞑想したり、そして気持ちが良くなってちょっとゴロっとして又会社に行くと。

まー他者から見れば苦行になるのでしょうかね。でも私自体はそれがスッキリして楽しいし、それでチベットのお坊さんも朝早く御経を唱えて寒い中ね、カイラス山でもこういうブランケットをグルグル巻いて、これ持ってやっていたけれども、ミラレパの洞窟というのがあるのですよね。

カイラス山の最初のお寺に泊まる所、それで「是非この洞窟で瞑想しなさい」と言うわけ。何故かといえれば私がこう瞑想しても何かチベットのお坊さんがとても私を好きになってくれて、何か知らないけれども特別だからここに入って瞑想して良いよって。

普通は入れないのだけれども。それで座ってみれば、こうなるほどそこで座れば気持ちが良くて寒さを感じないのですよね。前に瞑想した時も何かお寺で私一人だけだと気が付いたけれども、こう気持ちよくズーッと座っていてそこで。

でも気持ちが良くなければ苦行になると思う。その違いで、苦行のようだけれども苦行ではないのですよね。というのはパオでも、五時間六時間ズーッと座するという事は普通見れば苦行だけれども、私にとっては教科がこう続いてやらなければ、半分に切れてしまえばまた一からやらなければいけないからね、そっちの方が苦行になるから、もう続けてやってしまうだけで。まあ、そういう事で、人からみれば格好良いとかそういう事でやっているわけではないのですよね、私の場合は。

修行での禁欲と妻帯者の出家

また禁欲を非常に重要視されるというのは、それまた確か修行中はね、やはり私は若いころ夫婦生活しているもので、そのサイクルが壊されるわけです。全く部屋は別々で、所詮何故結婚したかという、まあ普通の家庭の女性だしね、旦那が、もうこんな風になって一人山に入ってこう座って、怒られないのがおかしいくらいで、それは仕方がないからまあ月に一回はこう付き合っただけでやらなければもう大変な事になるし、女性は女性のね、月のものとかそういう事があるから生理的な関係で、ただその時一番嫌なのは、サイクルが壊れるれるのですよね、私のサイクルが。

だからそれがダメと言うわけではないではないですよ。その事についてよくその禁欲を守っているお坊さん方とお話してね、「じゃあ皆がお坊さんみたいにして、比丘尼みたいになって、この世の中は平和になるのか？」と言えば、ケラケラ笑って「まあそういう事はあり得ない」と。それがそういう事で「皆が成仏し、成道に行くというわけではない」という事は、内部（出家の側）の方からケラケラ笑ったわけですね。私もまた内部に入ってみれば、「そうでもないな〜」と。

だから3か月か4か月一生懸命修行してね、ミャンマーでも。そうしたら奥さんが付いて来るわけです。いや、奥さんも一緒にまたサヤレーになってジーっと。それでサヤレーになるから会えるわけです。旦那に、旦那は嫌がるのだけれども、とうとうギブアップしてもう衣を脱いで帰って行った。まあそういう事で行をしたいけれどもやはり色々な事でカルマの因縁でね、そう上手く行かないわけです。

そのそれがダメだと言う事じゃない。と言う事。ところが太古のベータのブラミンの修行はやはりそういう方向になるわけですね。かと、言ってブラミンはブラミンの奥さんもあるし子供もあるし家庭があるわけですね。でも一旦やはり修行をしたらその禁欲生活をズーっと続けて行くみたいで、その聖者になってまあ家庭も離れると言う事。

年を取って私も大体60過ぎてこういう生活を始めましたけれども。結局幼年期、青年期、それから成人、そして最後は隠居して出家という、私のサイクルみたら大体そんなサイクルになって、それですんなり、やはり60過ぎてから出家の生活に入ったわけですね。

二つの society ソサエティに分かれている修行

それで最初からこう、レオナルド・ダ・ヴィンチの四角と丸、この中にはやはり男が四角になっているわけですね、の中にこう手を広げて。それでそのサイクルもやはり女性の出家というのもあるのだろうけれども、ブラミンの方は無かったはず。

大体ヨガの行者でズーっと大体、女性もいるのだろうけれども。大体そういう事で。だからお釈迦様は、比丘尼の団を作る時、非常に悩んだわけですね。だってそういう女性は、全く関係ないその精神界的には。

それで色々悩んで。というのは今でもそうでしょうか？イスラムは男だけでしょうか？
大体、宗教。

それでカソリックでもナンはいるけれども、サヤレーはいるけれども、尼とかチベットでいうプリーストはいないですよ。男だけです。

というやはり、ゾロアスターのそういう society ソサエティもあります。昔から続いて。やはり結婚はして、そういうちょうどユダヤ教に似て界域が二つに分かれるのですね。

ブラミンみたいなそういう宗教をする人と、それから一般の仕事をしてその下で修業をする二つの society ソサエティに分かれていますね。ユダヤ教ではラバイと言って、ラバイも奥さんがあって、そして、そういう精神的に非常に修業をして行くと。

イスラムもやはり一生懸命修行して高い位に入っていくみたいでその中から。昔のイースタンカソリックは、結婚していたのですよね、今でも。ウエスタンカソリックは、完全に独身という修行方法をとって。

それはやはり性的な事がダメと言うのではなく、やはり修行をして行く過程で非常に精神的にサイクルが私の方が崩れているし、無い方が楽なのですよ。やはり子供を作って育てると、まあそれも凄い修行でね、非常にいっぱい学びますその中で。

それでそれを外して、禁欲だけで行けばね、逆に女性を理解する事が出来ないから、やはり社会が又歪むのだと思いますよ。だからその所の論争が、お釈迦様の時代からあって、南伝ではね、比丘になれば一旦外したら3回までとか、それ以上はダメとか。外国の人は、前はもっと緩かったけれども、今は厳しくなってます。

沙弥には簡単にさせるけれども、比丘の位はなかなか厳しくし始めたみたいで。それで沙弥の位で、あと三ヶ月とか一ヶ月お寺に入ってじっと瞑想するわけですよ、ミャンマーで。何故かと言えば、「どうしてそんなに休暇を貰えるの？」「いや私は船乗りでCookしているからコックさんだから、今船が着いて二ヶ月休みだから、今ここにきて修行をしています」とか、又在家の人は在家として一ヶ月一生懸命お寺で瞑想するのですね。

日本は天国みたいな修行道場

それで又スリランカで見ましたけれども、ナウウラヤナという道場は凄く素晴らしくて気も良いしね、まあ、そこで又、カーヤヌパッサナーが成功してね、その大地で。

凄いエネルギーを貰って、そこで観れば私たちは比丘だからクティ貰うのだけれども、一般のそういう在家の方は、本当にタパスやるわけ苦行、苦行というかそれが平気みたいで、木の下でズーっと夜中座たり、それで宿舎と言ってもね、土壁と土間があるだけでそこで寝るだけです。

だからこういう風に私達は、屋根があって、まあ寒いですがけれども、これはもう極楽浄土ですわね。Pindapata (托鉢)に行かなくても、まあ自分たちのお金を払いますけれども、食事が出てちゃんと。まあ本当に、チベットのお坊さんとか南伝の方が、

日本に来たらビックリ、するのですね。やあ、「日本はもう天国ではないかと。これこそ素晴らしい仕組みはないと、皆楽々と食べるものは一杯あるし、綺麗な所に住んでいるし」そう言っていましたよ。

でもまあ法が伝わっていないから、なかなか昔は修行道場があったのだけれども、今は供養お寺になってしまって、それで修業寺はどんどん潰れて行くと。誰かお布施しなければいけないし、昔は国かどこかが出したから一般の在家でも修行出来るようだったけれども、まあ、そういう風なものがないから、こういう状態になったわけですね。

月の半径から私達が無明である事を説明している

それでちょうど、こういう所に私がひょっこり訪れて、このまま毎年毎年来るようになって、それでさっき無明、無明が始まってそれがだらだらと繋がって、やはり何と言うのかね、愛とか渴愛とか、中国では取とかいう風に訳されて、それによって又生を受けると。

それで生を受けて色んな苦勞とか憂いとか悲しみの中で又、死に入ると、それでその12因縁のその所の行列が長々と詳しく書かれているわけですね。

生きている私達、今、これは毎日サンカーラを作っているわけです。これから死に至るまでの間の。その時に殆ど無明になってしまうわけですね。

何故かと言えば社会自体が、私が説明した日月燈明仏とか日光菩薩、月光菩薩二万仏という風な功の流れは分からなくなった無明。そして、二十八仏前からは書かれて、それでお釈迦様は二十五仏前のディーパンカラー大燈明仏からその時に授記を受けてお前はこうなると。

お釈迦様が生まれた日と成道した日と死んだ日はテラワードでは同じ日なのでですね。同じ日の満月。北伝の方は、二月八日とか旧暦ですよ、旧暦昔の。四月八日、日本は太陽暦でやっちゃっているわけですね。それで私がチベットでいうお釈迦様のお祭りをカイラス山でするのですよね。それもやはり満月の日にやるわけですよ。五月の満月だったと思う。

旧暦では五月の満月は四月になるはずで、それでテラワードの方は、四月の満月の日が生まれた日で、四月の満月の日が成道した日で、四月の満月日がお釈迦様が涅槃に行かれたと、そう説かれています。やはりあちは月という意味が非常に重要視されているわけですね。

それで私たちの遺伝子もレオナルド・ダ・ヴィンチの書いた四角と丸あるでしょう？あの中に全ての暗号が組み合わされているわけですね。結局πナンバーから月と地球のサイズから、それから月齢もね、半径あるでしょ、ちょうど面積が33とするでしょ、月のその四角を33、そうしたら丸も33になるわけですよ。

それで丸が丸の半径が18.6なんぼになってね、後でナンバー言うけれども、それがちょうど二乗掛ければ349と言う、ちょうど月の12で割って月齢の一年になるわ

けです。

という風に私たちは生まれながらにして、学校に行って月、太陽を学ぶけれども一切教えられていない。それは何も高等数学とかそういう事ではなく、簡単な算数で説ける事を一切教えてもらえない。

特に義務教育9年で当然分かるべき事は一切教えられていないし、特にダーウィンの進化論で科学宗教的になってしまっただけでね。それでもう決められてしまったわけですね。

というのは何故そうなったかと言えば、結局、キリスト教の世界では、「神が全て作られた」と、実際それも又、合っているわけですよ。現代人のこのDNAと、宇宙から来たあのアヌアキの一人の生命体のDNAをぐちゃぐちゃに混ぜて私たちを作ったという文献があるわけですよ。

それを土にしたとクレイ clay、まあクレイじゃないけれども、まあ今でもDNAをそういう風に、ニッピング nipping とか、こう色んな事が作用して。

そういう事で、非常に不思議な事はね、エジプトのあの巨大な地下のお墓があるわけですよ。棺桶が大体200トン、それも綺麗に磨かれた、それでそのどうして、そこへ持って行ったか今でも分からないくらい。巨石の棺桶と通路の隙間が大体2cmくらいかな、2.5cmくらいの隙間しか無いわけですよその全体を入れるのは不可能。それがちゃんと入っていて。

それでその中で、何があったかと言えば、骨をぐちゃぐちゃに砕いて、そしてそれの上にタールあるでしょ、ピッチ。ピッチで固めて、それがあただけなのですよ。

何故かと言えば、その昔、牛の顔をした人間の神がいて、凄い獰猛で物凄く恐ろしかったと。それで二度とそれが出て来ないようにという事で死んだら、DNAをめちゃくちゃに壊してピッチにして、それを50トンもの石の棺桶の蓋でビタッと抑えたという話もあります。

かといって、私たちのDNAが作られたものかと。それが不思議な事に八億年前のロシアの棺桶から、素晴らしい美女が棺桶の中に居るといふ。その人のDNAを調べたら現代のロシア人のDNAと同じだと。だからもうわけの分からないようになってね。

つい最近も、プーチンがもの凄く怒ったわけですよ。自分の国のお医者さんとかそういう人が、「アメリカのCIAが白系ロシア人のDNAを一生懸命採集しているわけは何故か」と。今は細菌戦争とかケミカル戦争があるからね。そういう事でやっているのか？ どういう事で検査をしているのか？

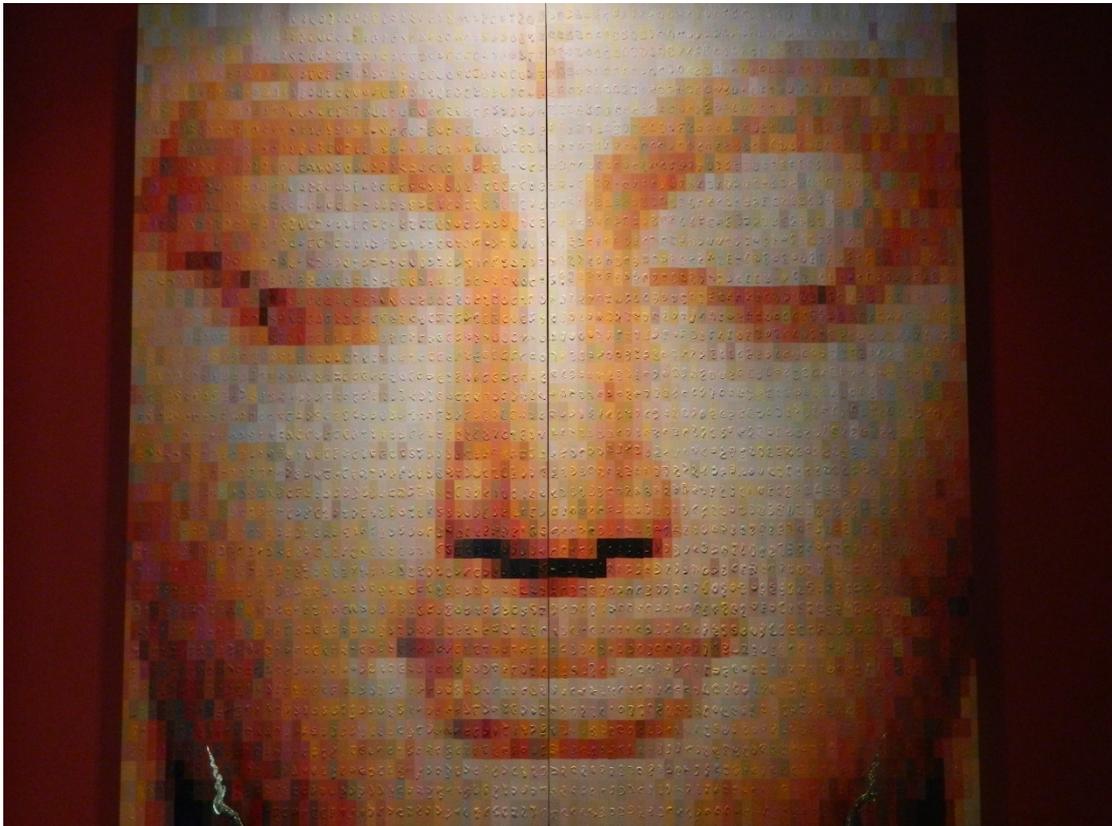
それでロシアの方は、八億年前の遺体は絶対公開しないし、全部秘密にして持っている。日本にも凄い秘密があるけれども、それは、私は言わないでおく。それがロシアとアメリカと日本の関係があつてね、太古の非常に古い、ドイツも絡んでいるけれども。その事は日本の人は、一切知られていない。

アメリカがその小さい島を、日本では知られていない小さい島をじゃああの～譲ってくれと。ロシアはそれを日本から取り上げて。それで全部アラスカまでのアリューシャン列島をくれたら、ちっぽけな名も無いこの島をあげると。そこには4000名の

日本兵がおって、潜水艦を持って、飛行場も持って、ドイツの潜水艦も来て。まあそういう話があるのだけれども、知らないでしょう？

だって、今シリアで2000名のアメリカ軍がおるといっただけでビクビクするのに、小さい点みたいなの、名も知れない（それは言わないでおくけど）そこに4000名の軍人のおってね、全部ロシアに行っって、白状しろと言ったけれども白状しなかったみたいで。まあアメリカも知っているし、日本も極秘にして知っているし、まあそういうところですよ。

だから無明なのですよ、私達は。



【参加者】

すみません、先生のそのお話が分からないと自分が無明かどうか分からないです。

【水源師】

まあまあ。それで、そういう風にね、月の半径から無明の事を説明しているわけですね。

「仏説・般若心経」はアビダンマの題目を唱えている

まあ大雑把に言って、芸術的にも無効な話であって経済的でも、だからまだそれを解き明かす時代ではないと思うし、日本政府も必死になって隠しているし、アメリカもだんまりだし、ロシアもだんまりで黙っているし。

まあ、そういう事でね。それを公開してちゃんと開放して、近隣諸国ズーッと仲良くやって行けば、こういう事態はもたらさなかったけれども、お釈迦様の言う通りに。

それがやはりウィリアム・アダムス、こっちでは三浦按針とか言って、ウィリアムアジソン、でもアダムスなのです。20歳の時に日本に来てもうそれからフランシスコ・ピサロが来て、ちゃんとその前に日本をカソリックにしようとして、それでこれは危ないという事で徳川がカソリズムを弾圧して、その時は伊達藩がミショナリーをメキシコからスペインを通してズーッとバチカンまで行って、大歓迎されて帰って来た時に、その時にイエズス会という手法、今も主流になっているけれども、やっている事は座禅なのです。やはり昔の武士階級は必ず禅をやるでしょう？武士階級が行って船で行って帰って来たら、日本の国が徳川に取られて、そんな感じで、その時その時にすったもんだ、があったみたい。だから、その非常に熱心に仏教を研鑽しているわけですね。

特に「空」。ナーガールジュナのこの般若心経の「空」ですね。やはりここにちゃんと書いてあるでしょ、あのまあこうサンカーラの事をズーッと除けといて、「無無明亦無無明尽」無明が尽きる事無いと。「無老死尽」と無明と老死。

「Jaramaranam」ここですね。これはアビダンマの事です。12因縁のどこ。この12因縁を今度詳しく書けば、イグノランス (ignorance) と言いますね。Avidya=無明。そのAvidyaこれはね、全ての行動、又は言葉、又は心の無明 not knowing sufferingつまりそういう事をすれば非常に苦になるとか、又これが原因で苦の原因になるとか、これをどういう風に止めれば良いかという事が分からない、その分からないが故にそのままそれを無明をズーッと続けて行きますと。これを読んでイグノランス (無明) というアクションが出来上がりますと。これが始まり。

だから般若心経では、ナーガールジュナ (龍樹菩薩) 様が完成されたこの短い御経の中、これお釈迦様が、弘法大師様が7つの時に、ムシロに座って事細かく説明され

たと言われています。般若心経秘鍵でこの内容を。つまり、こういう風に、簡単に言ったけれども、私も最初から般若心経は、アビダンマの題目を唱えていますよ、と何回も言って、結局無明。じゃあ中国語では何と書いてあるか？

中国語、無明餘逝=Avidya patya saṅkhāra というここから入って行きます、中国語では。

まあどちらも同じように合うのだけれども。これだけではちょっと漠然として分からないと思います。それでパオサヤドーが、このカルマ、カルマの仕組みはどうなっているかと言う本を出されています。

これは teachers class とか、私は直接パオセヤドーからもらいましたけれども、日本であるかどうか分からないけれども、これを理解するにはやはりダンマヌパッサナーを完全に終了しなければ理解できない本です。

ですから私がパオセヤドーに直接言って「この本を下さい」と。「いやあ、私の手元には無い」と、「じゃあどこで受け取れますか？」と、言ったら「モーラミヤインの本部にあるから」と。

それでそのメイシティーから今度はズーッと行って、そうしたらクムダサヤドーというのは結局外人の部長なのですね。そのモーラミヤインのクムダと全然違うのだけれども、彼はモービーのクムダと混同視されて非常に困っているとは言っていましたが、その人が「はい、この本でしょう？」と。ちゃんと、もう連絡来て私に渡してくれた本。という風に、こういう本でも現場に行つて受け取れるのだけれども、ただここに居て何でもかんでも話を貰つてと言うのでは、やはりなかなか法を受け取る事は出来ませんよね。

これにも一杯素晴らしい法が書いてあるわけなのですよね。この中でよりの確に言っているわけですね、その無明の事を。こういう経典読むには、やはり体験しているので何を言っているか分かるけれども、体験しなければもう頭が痛くなるくらいで何が何だか分からないと思います。

ただこれが中国文で書かれた場合はもっと頭がクラクラするけれども、英文で書かれていて、又体験しているからこう解説出来ますけれども。さっき言った中国文のあれではちょっと説明したのだけれども、これは明快に書かれている、愛とか渴愛とか「取」とこれはね、死ぬときにこれが発生するわけですね。

Greedy=欲と、また毛嫌い hate, hatred, lobha (ローバ貪)、dosa (ドーサ瞋)、moha (痴モーハ)、delusion=そうじゃないのにそうと思う事、ですね。これが最大の原因になって、それを渴愛とか取とかそういう風な事で説明しているものだから、これは体験して初めてそこが分かるわけですよ。その時が、クサラという34善心という事を説明したでしょ、そこが発生しないわけですよ。それが、ここで18とか20とか22になるから、それで無明がそのまま最初から無明、ここが原因で、今度は生命体が発生するわけです。

だから結局無量か功の昔に、インドの王様が子供を欲しいと言って、一生懸命神に祈つて、もうダメだったから、それじゃあ12歳の子供の肉を切り裂いて天にお供え

したら、こうバーベキューで。という悪行をしたお陰に、大変な魔が発生してしまったと。

まあ、そういう話が現在も続いていると。それで又、何故かユダヤ教のアイザックの経典を読めば、神に最初の子供をバーベキューで捧げるといふ、それをやめて羊にしたわけですね後は、羊を捧げると。という風に全く私たちは無明の世界で生きているわけなのです。アビダンマでこういう風に説明しているけれども。

全て因縁によって発生した修行の道

ちょうど私は本当にそのただ因縁によってだけこれが発生しただけで、私がしようと思ってやったわけではないわけですよ。

只、ドライラマ法王様がトロントに来て、何故かチベットの方が私の家に来て「どうか法要するから日本のお寺を紹介してください」と、何故か私の家に来て、それで私がそこのお寺に行って住職様に頼んで快く、じゃあオープンして下さいました。

その時に、やはり非常に四界分別が大事だから、君たちは若いのだから一生懸命勉強して下さい、という事が頭に残ってね。

それでカンボジアを旅していた時に、素晴らしい在家のお医者さんが「ミャンマーではこの四界分別、これを見せる手法があるのですよ」と。「是非寄ってみてくれ」と。

それでまあ半信半疑で最後に寄って行ったら、結局、ウレワテバンテと会ってびっくりして、私が本当は一週間か二週間でそこで遊んで帰ろうと思って、ミャンマー見たいしね。ところが、ばっちり一ヶ月そこに居て、期限切れまのでビザでね。それでこうジャーナの寸前まで入ったわけですよ。ニミッタを出して行って。

「ここに、居れ」と言われたけれども、いやあ、もう3年そこにばっちり居てしまったら、カナダの方が心配するからね、まあ一旦整理してからという事で、一旦整理してそこで今度はどっしりやろうと思ったら、スイスイスイと行ったわけです。

だから全て因縁であってね、その存在すら知らなかったから。わたしもカナダで印幻先生ですね、その東京大学で博士号取って、中村元先生ともよく故意にされてこの御経、まあトップスラスですね。その人からもマンツーマンで教えてもらっているから、直接。だから東京大学に入らなくても裏口入学で極意を教えてもらえるわけですよ、こういう風に。人世どこでどうなるか分からないです。

韓国のお寺でのおもてなし

その上に、そのお陰で法を持ったマハヤーナの法師と言われる月下和尚という超有名な人に「よしよし」と「よく来た」という事で、もう御殿なような所でね、最高の日本料理を頂いた。

お寺というのは、最高の日本料理なのですね。日本の料理は全て韓国のこのお寺か

ら出ているという事が分かったわけです。日本のお寺では精進料理あるでしょ、もう超最高の御殿で出すような日本料理、純日本料理。

その下の位になれば、トウガラシとかニンニクを入れるけれども、そこでは一切五辛と言ってニンニクとかラッキョウとかそういうのは使わないのですけれども、実に美味しいですよ。そこは二千年以上続くお寺だから、全て陶器を作る和尚さんとかね、分かれています。

【参加者】

それは日本のお寺ですか？

【水源師】

いやいや韓国ですよ。純韓国のズーっと法が続いて。それでやはり最後に確か日本のお寺が行きました。太古宗（テコジョン）と言ってね、曹溪宗と太古宗（テコジョン）の二つありまして、太古宗（テコジョン）の方は結婚してもいいと日本風になっています。でもやはり本来の禁欲主義の独身で、曹溪宗そこには離婚しなければ絶対お坊さんになれない、掟になっています。

それで4年間は厳しく修行をして、初めて比丘戒をもらうという事で。だから私がパオに行ったらすぐに比丘になって、え～こんなに簡単に？これまあテンポラリーのお坊さんでしょうと私が言ったら、「いやいや本物なのですよ」と言われて、え～と思って、まあ未だにこれを着せてもらっています。

旅して初めてわかる仏教の超極意、仏教は体感しかない

それで旅する事によって、沢山の事を発見しますね。そういう風にして本では分からない実体験をして行くし、やはり現場に行くから本では伝わらない超極意みたいなものが伝わってきますね。

色んな生活体系から、座り方から、やり方から、実際に観るし、座ったり、座らせてくれたり、現場にいるものだから。本では得られない、それから又一般のデモンストレーション修行ではなく、実際の本当にしているお坊さん方と一緒に座るものだから、やはりバイブレーションが違いますよね。

そういう風にして、チベットでも色んな南伝のお坊さん方とかズーッと座ってきたものだから。ちょっと本に書いて、格好のいいやり方をしていると、実際はこうであるとか、色んな事が分かってくるわけですね。

それで無駄な事を外して、直接良い所ばかりで行けたと。そういう事だったのかも分からない。だからズーッともう、退職して仏教の国ばかり回っていたものね、ズーッと。

もう数知れない町とか村とかズーッと陸路で。飛行機で行けば全然だめなのですよ。点々で何も観えない。行ってすぐに帰って来て、なんか宇宙船に乗ってぽっと降りて

みて又ポッと帰って、ポッと行ってポッと帰って、だから何にも観えないで帰ってくる。

ところが、バスで苦勞しながらバックパッカーで行って、言葉も分からない所でズーッと行けばね、その現地の食べ物、人の生活の仕方、それで私がダラムサラからインドのニューデリーに降りて行く時に、そのある小さい町か、小さいと言ってもでっかいのですね、人が一杯いるから、その町自体は、そんなビルディングも無いのだけれども、もう1キロ2キロもズーッと小さいこの畳半畳くらいでね、同じ煙草をズラ一っと売っているわけですよ。

一つ煙草が売ればその日が良いのか分からないけれども。そういう風な国でよくもまあこう言う仏教を作られたものだと。それで私達はその恩恵にあると。だからそれをただ利用してただ自分だけのものではなく、頂いたものだからそのお礼として返す必要もあるのではないかと思いますね。

特に日本には護摩焚行もちゃんと持っているし、それを体得するには、どうしても法随観を持って初めてその極意の奥が分かる事であって、それを結局難しいからマントラでやってしまうと。

ブラフマ・ビハーラ (brahmavihāra:慈・悲・喜・捨の四梵住) ね。それなしでは、ちょっと難しいと思う。そのうちお祭り行事になってしまう。だから私の場合は、次から次へとそういう現象が起こったけれども、何も観ないですと言う方もおります。

だけれども、何にも観えないと、何も発生しないと。そりゃあその通りやるけれども、実態を観てやるのとただコピーでやるのと全然違うわけですよ。だから仏教というのは体感できないわけです。

コンピューターは涅槃に行けない、頭に詰め込んでも無駄、体験のみ

まあ、その事を説明したくて、又、この無明の事を、もっと詳しく解説すれば長々となるので、皆さんが本で勉強して質問したらそれに則って、私の体験とそれと照らし合わせて答えた方が良いかも知れない。

これは、もう英文で載っているし、日本語では分からないけれどもね。無かった場合には、このコピーを事務局長に渡して、だれか訳して、簡単だから訳して法話集に載せれば良い事であってね。そうしたらもっと詳しく分かるし。まあその参考文として、中国語の中とかね。将来ですよ。

あんまり発表しても、こういう難しい事、あんまり意味無いと思うのですね。体感した人には、ピンポイントでここですよと言うけれども、これを持ったってさあ、これを全部頭に入れたって体感出来ないからですね。

逆にコンピューターには入るけれどもね、人間がコンピューターになるくらいで、結局コンピューターが涅槃に行かないみたいなもので。

これを頭に入れたって、あんまり意味無い事で。やはりズーッと座って行って、その教科をして、初めてこの本が意味成す事であってね。やはり二千六百年のこの間に、

莫大な文献が出たわけですよ。

だからその文献が何を意味して、どういう風に使うかという解説は、もう完全に失われてしまっているから。それはね北伝と南伝をちゃんとしっかりと観なければ、その意味すら分からないと思う。それで一つ一つ研鑽して行くとすれば、もう莫大なお坊さんが必要だと思いますよ。それぞれ色んなセクションに分かれて研鑽して行って。

ただ私は、その入り口でこうなのですよと。一般の在家の為にやっているくらいであって、お坊さん方は、文章に溺れてしまって身動き取れないのではないかと思う。それは、頭に詰め込んでしまわなければいけないし。

私が弘法大師様の非常に重要な陀羅尼の解説を少ししましたけれども、殆どの方は聞いた事も無いと思います。非常に重要な文献で中身を事細かに教えているのだけれども、それを解説した方もいないし。

あるのは分かっていると思うけれど。中身を初めて事細かに説明したと。それもほんの一部。又それもやれば長々となるから皆さん、「もう嫌だよ」ってなるから、もうかい摘まんで、こういう風にお話していますけれども。

これもまあぼちぼち雑学みたいな説明だから、結局文献派にとって、あれは雑学だとなるけれども、それはそれで良いのですよ。

ところが、文献派で明快に噛み砕いてね、明快にしてくれれば良いけれど、一つも無いでしょ。逆にもう分からない事を書いていますよ。殆どが。分かったつもりで中身を読んだら全然方向が違う事とか、出来ない事を一杯書いてあります。

それが文献派の正統派だから、無明じゃない？最初から無明。それこそ無明。どこにも行けない。だから無明が無明と観えないわけですね。この本を読んだから絶対無明、もう明らかに分かったと。その根本は、ルーパも観えないし、時空の体験もしていないし。

南伝の 12 因縁と大乘の 27 の分析

それを解説するには、12 因縁を今度は、南伝の方はサラサラっと 12 因縁でやったのだけれども、大乘の方では 27 の分析をします。27 に細かく。それでその中で南伝では、時間と空間は入っていないのだけれども、私は何故かそこを観ているからそれが、あ、これはこの事だと。それは南伝の方ではしなくてもいいのですよ。

私の方は生まれて死ぬ時の時間と空間がどうなっているのかを研鑽しわけですね。時間と空間の analysis アナリシスという事が書いてあるのですよ。

一番がパラティヤヤパリカサ、analysis of condition アナリシス オブ コンディション、やはり無明の最初のそれをこう研鑽していくと。

それでその中に NO.3 が analysis of I and other since of organs アナリシス オブ アイ アンド アザー シンス オブ オルガズ=五蘊の事ですね、五蘊の事。

ここ、とかこれも又、文献を印刷して渡しても良いのだけれども、18 番、心はどういう風に出来ているか、soul ですね、心=mind、soul という事も結局、南伝ではそ

こも言いますけれどもサラっと、私が説明したように。

ナーマ・ダマの事だけでも。それから時間を解析すると 19 番。最後にやってくるのは、ディリサティ パリカサ、Right view＝ライトビュー＝正見、正見という事を私はきつく皆さんに説明したでしょ。私は知らなかったけれどもここで非常に重要な 27 番最後にこれが入ってきます。

非常に重要な NO.27 の正見

だから 12 因縁を非常に解析した後で、最後に正しく見る正見という事が入ってくるわけですね。

これが今日本では、実際にこれをやられているお坊さんがいるかどうか分からないけれども、居れば是非出て来て、こういう事を書いて解説して欲しいですね明快に。

でなければね、非常に仏教を危うい事にしてしまう。何をやっているか分からないと。ただ正見＝正しく見ると。ずーっとこういう行をやって最後に正見が出てくる最後の 27 番。でなければ、ブレてしまって何をやっているか分からない。

だから皆、分かったつもりで「お、正しく、正しく」じゃあどういふ風に正しく見るかと。一つ一つ、ズーっと心の研鑽をして、初めてこれが正しく見る法だと間違わないのです。

結局、ある時空や時代では悪いのだけれども、女に触ったと言ったら、あれはスケベで嫌な男だと笑ってお終いだけれども、今、同じ事をすれば刑務所、という様に変わって行くわけですよ、道徳とか色んな事が変わっていきます。

ダンマを調べて行けばマハヤナもテラワータも殆んど一致してしまう

まあ、そういう風に捕らわれない正しい見方をするにはやはり、勿論 12 因縁を観て、経典を読めるけれども、それをマハヤナが実は最初のサンガだったのでね。それが分かれてセラバダ派が出来ただけけれども、何回も説明するように。

それはたった 10 の規律の問題で論争したわけですよ。だから最初にマハカシャパがアーナンダに「一体、お釈迦様は、何が大切かという事をお前は聞いたのか？」と「いや、聞きませんでした」と。それで仕方なく皆アラハトが来て、「それじゃあ仕方ない。お釈迦様の言葉だからそのまま皆受け入れましょう」と。

やはりそこには使えないものがあるわけですよ。例えばね、おしっこかうんこをする時はどういう風にするかという事も入っているわけですよ。

現代ではその規則は使えない。何故かといえば、うんこをする時は、おしっこを別なチューブに入れて混ぜないという風な仕方をしなければいけないとか。というのは、うんこにおしっこが混ざったら上手く醗酵しないし、おしっこはおしっこで又使うのでしょね。

それは非常に大事な事で、昔の農業体制でね。そういう事であって、今は全く別な

農業体制だから。だから合わない事もあるわけですよ。

ところが、長老派は、「いや絶対にそれは譲れない」と、そうなったわけです。確かに譲れない所があります。何故かと言え、お釈迦様は「金とか銀とか金目の物を受け付けないように」と御経でも言っているように。ところが、ダーナとしてね、素晴らしいお坊さんには素晴らしい衣を金銀とか付いたのをお供えするのでしょうね、昔。

だからまあ、それも良いのではないかという風な風潮もあって、そういう論争で別れた事で、ダンマで別れた事ではないわけです。

ダンマを調べて行けば、やはりマハヤーナの今のダンマもあるし、テーラワーダのダンマも殆ど一致してしまうわけですよ。

ダライラマ法王は全てのカギを持っている

ただ細かく見るか見ないか、ナーガールジュナ様はそのスニャータ（空）を詳しく解析していった論文があるのだけれども。

それを西洋の方は、必死に求めてアレキサンダー大王が、アフガニスタンに来てその後、今のイルミナーテの哲学者エレスですね。ギリシャからインドまで来て必死に求めたわけです。それでも手に入らない文献だから。

今でもダライラマ様にお願いして、チベットン仏教のそこを一生懸命研鑽するけれどもね。いくらロジックでも出来ない。そこは。出来ません絶対に。

だから 1647 年に、1603 年江戸幕府が開幕するその辺りにね、マリオだったかな？ ちょっと名前を忘れてしまったけれども、バチカンがチベットに使節団を送り、チベット大蔵経を手に入れる為に送っているのですよ。日本は、戦国の、その徳川幕府と秀吉の戦いとか戦乱の世、その時ですよ。伊達藩はバチカンに使節団を送るし、その時に広東、広州からチベットにズーっと上がって行って、いやあ、これはあと 40 年かかると。

それで 7 年待って帰って行って 47 年に又上がって行ってそれを取りに行き、バチカンにあるわけですよ。だからそれでアイゼンハワー大統領が、どうしてもダライラマ様を中国より引き出したかったわけ。彼が全部知っている、私が直接聞いた話ですよ。又聞きじゃないですよ。

本人は「いやあ、私は全ての鍵をもっている、どこを開ければいいか、聞かれば全部、何処、何処という事は言える」と。勿論色んな文献とか先生方が来ているから。

20 年の行を終え、ブータンから南下してパオの本部へ辿り着く水源禪師

それはね 20 年かかるわけですよ。最低、最初の行が。だから偉いお坊さんがね、「君はもうバンガロールにある五千名のお坊さんのお寺サラジエだったかな？ そんな名前、もう登録はあるから、そこに行ってくれ」と。「いやあ、20 年もそんな事今 60

でしたくないです」と言って行かなかったけれども。

それで私が国連に勤めているフィンランド人にね、六ヶ国語話せるのですよ、この人、タイで会って「どこに行けばいいか」「じゃあ、サラジェに行って見て来たら」と言って、そこに行って「いや、無事に着いた」と言う知らせを貰ったけれども、「もう君の名は登録してあるから行ってくれ」と。

というのは、私の過去世において分かっているわけですよ。だからブータンの和尚さんがね、わざわざ使いをよこして、私が寝ている時パッとここに来てくれと。

私は旅の最中で何が何だか分からない。そんな所に一人で行ってお金を全部盗られたら大変だと思って行かなくて。逆に、サルナート行って今度はアジャンターエローラに行ったわけですよ。

その前に、そこに行く準備して、手配もしたのだけれども、「ちょっと待てよ」と。南下しようとして、南下したからパオの本部に行けたわけですよ。南下していなければ、逆にそっちの方に行って、北伝の方で、今頃ブータンのお坊さんになっていたかもしれない。そこから出て来なかったかも分からない、そんな感じです。

日本語で説明出来るけれど、こういう話しは滅多に聞けない

【参加者】

そうしたらチベット仏教にはその全部の教えがあると言う事ですか？

【水源師】

教えがあってもね、それを解説する人に出会ってもチベット語が分からなければ話にならない。

私は素晴らしいお坊さんに出会い、そのお坊さんがゲシラランバ博士号の試験を受けるのですよ。最終段階でダライラマ様から直接に問答するそのお坊さんも素晴らしい若いお坊さんで、「私を教えてくれる先生を探してくれ」と。「はい」と言って、「見つかりました」と。

「じゃあ英語言えるか」と、「いや言えない。チベット語」と、チベット語が分かって勉強をすればもう色んな物、それからミャンマーでもそう。

「いや、ミャンマー語を勉強してくれ」と。何ヶ国語私はやらなければいけないのかな？ただ幸い日本語が出来るからここまで説明するけれども、こういう話も世界では滅多に聞けないですよ。

どこの国に行っても。だから、これもね、日本は仏国で、本当に仏国というのは素晴らしい国でね、戦争をここで起こしたくないから、何とか何とか私も祈って去年から何とか無事に、北朝鮮と韓国が戦争しないようお願いしましたがけれども、これもね、北朝鮮と韓国が戦争するわけではないのですよ。代理戦争でね、アメリカとロシアの戦争、西洋と中国の戦争なのです実は。

中国と西洋の人類の大戦争をやるかやらないかの所に来たわけですよ。だから無事に

今は一時押えたけれども、これは、時代が変わってどうなるか分からないけれども。今は少し収まる感じで。

命を懸けても国民を守らなければいけない政治家、今は全く逆

【参加者】

(自衛隊の) 演習の大砲が鳴ってましたね。

【水源師】

そうそう、あれも凄いお金がかかるのですよ、税金でボンボンボンって。それだったら仕事を与えたらいいでしょう、若い人に、はい、百万二百万これで農業開拓機械を買い足しますってやればいいのに。

ベトナムに20の軍艦を贈呈するとか、フィリピンにいくらでも軍艦作ってあげるから使いなさいとか。頭狂っているじゃない？そりゃあ戦争させて日本は儲かるよ。でも恨みもっと買っちゃうよその時に、凄い恨みを買う。

だから、そういう本当に魔境に騙されないように、日本の政治家たちは、命を賭けても日本国民守らなければいけないのに、逆でしょう。もういい加減にしたらどうかと思って、増々悪くなって。増々西洋かぶれになってしまっ。本当に、もう、どこでどういう風に止めたら良いか分からないくらい落ち込んでしまっている。

日本の中小企業の社長さんは、もうパニック起こすくらい必死だからね、皆。商売守るために一生懸命大変ですよ。もっと優しくしてあげたらどうなのかなと私は他所から言えるくらいで、ここに住んだら言えないのでしょうかね、黙って黙々と働くしかないのかしれないけれども。まあそういう事で。



礼拝するスリランカの幼子

質疑応答

【参加者】

写真の観音様のところに、そこにある後ろにあるこの竹の字はなんですか？

【水源師】

これはね、ミャンマー語で書かれた、行を修めたという事であるお坊さんから頂いた。

【参加者】

あ。そうですか、観音様とは全く別。

【水源師】

じゃあないのです。印としてまあ一緒に観音様と飾って。

【参加者】

その観音様は補陀落の観音様。

【水源師】

そうです。

一円相がズーッと無限に広がった場合、過去に仏陀に会ったという事

【参加者】

先生一つ良いですか？弘法大師様でしたかね。

【水源師】

補陀落、陀羅尼

【参加者】

その中に一円相の事も書かれてあるのですが、それはどう言う事ですか？

【水源師】

それは仏に近づくという事、ブツダに近づいた証拠。の印という事。

【参加者】

一円相が。

【水源師】

はい、そうです。それはね、カシナの手法でスケルトン瞑想あるでしょ。これ白く見えるでしょう？その白を観てカシナに入る時にこう白い一円相が観えるのですよ。それがズーッと無限に広がった場合には、あなたは過去にブッダに会ったという事。

一円相からホワイトカシナの瞑想に、スケルトン瞑想からジャーナへ入って行く

日本語では一円相だけでも、あっちでは白い円盤みたいなのが出るからと。それがスーッと広がった場合は、過去にブッダに会ったと。じゃなければ、こう止まっていたら広げていくわけですよ、段々、段々時間かけても、広げます。

それでホワイトカシナの瞑想に入っていくわけです。だからスケルトン瞑想も非常に大切なわけですね。

スケルトン瞑想法からジャーナに入る方法もあるみたいですよ。私は直接ニミッタから入って行ったわけですね。結局スケルトンでしっかり観たら光とか一杯出てくるから、それからジャーナに入るという事を經典に書てますよね、大体予測は付くけれども。ああこう言うことではないかな？と。良いですか？

【参加者】

はい。

修行を終えて指導するには実証が必要、文献ばかり教えたら完全に偽物

【水源師】

だから、こういう事も經典には書いてあるかは分からないけれども、実際に体験した人から聞いた事はないと思う。誰も日本では発表はされてないですね。

そこが大問題で、「いやあ、修行が終わった」とか何とかは言うのだけれども、じゃあ事細かに解説したら良いのだけれども、そう言う話も聞いた事も無いし、只「終わった。終わった」でお終いで、何が終わったか？パオサヤドーは、「私は口出ししない」と。本人が終わったと言え、それでおしまいだという事。

だから実証が必要なわけですね。終わったら人に如何に事細かに指導して行くか、また行法を教えるかと。やはり全然行を教えないで文献ばかり教えたらこれは完全に偽物だし、全くそういう事も全く話さなければ、これも全く可笑しい話だし。という事を平気で「よくやるな」と私は思いますね。

何も出来なかったからと、とことん出来ないのだから全然恥ずかしくもないのに。ビリで良いわけです全然。私みたいに小学校ビリでもこうなのだから全然問題ないの

に、何で金メダル取っていないのに、取って来たって、何で言うのかさっぱり分からない。ちょっと頭が狂ってるのじゃないかと思うくらい。

そういう人が多い世の中。全く人は人。私は私。関係無い話なのに。そういうチャホヤされたいが為にやるのだったら、恥ずかしい話です。

そりゃね、お釈迦様からチャホヤされたら嬉しいけれども、一般の訳の分からない人からワッショイ、ワッショイされて嬉しいのかね～それ。本当にね。そう思うよ。私は。だから結局、ロックンロールスターとか歌手とかワーっと、それは良いよ、そうしたら歌手になれば良いのに。そういう事が好きだったら。まあそういう事で。

「正見」を持つ為には「空」を観るという事、その際先生がいなければ、

【参加者】

先生もう一つ良いですか？二年前に正見の話をよく質問させて頂いたのですけれども、未だもって正見が自分には無いというのは分かっているのですね。今、先生は正見を得るためには12因縁をまず理解しなさいという事を言われた、思うのですけれども、まずという事は次があると思うのですが、正見を持つためには12因縁を理解するのと、もう一つというのか他に何かあるのですか？

【水源師】

それはね、結局「空」を観るという事。ともう一つはお釈迦様が言われたのは、カシナの瞑想法がありますと。まあスケルトン瞑想から入って行く方法がありますと。3つの入り口がありますと言う事。

【参加者】

「空」を観ると言うのは普通の人にはなかなか出来ない事ですか？

【水源師】

出来ますよ。私も出来るから出来る。

ただ時間が必要で、私もよく家庭でも、遮断して一人で籠ったりとか、そういう状況が出来るまで時間がかかると思う。家庭もやらなきゃいけないし、身体もしっかりしていなければいけないし、そういう事を目掛けてやはりトレーニングですよ。

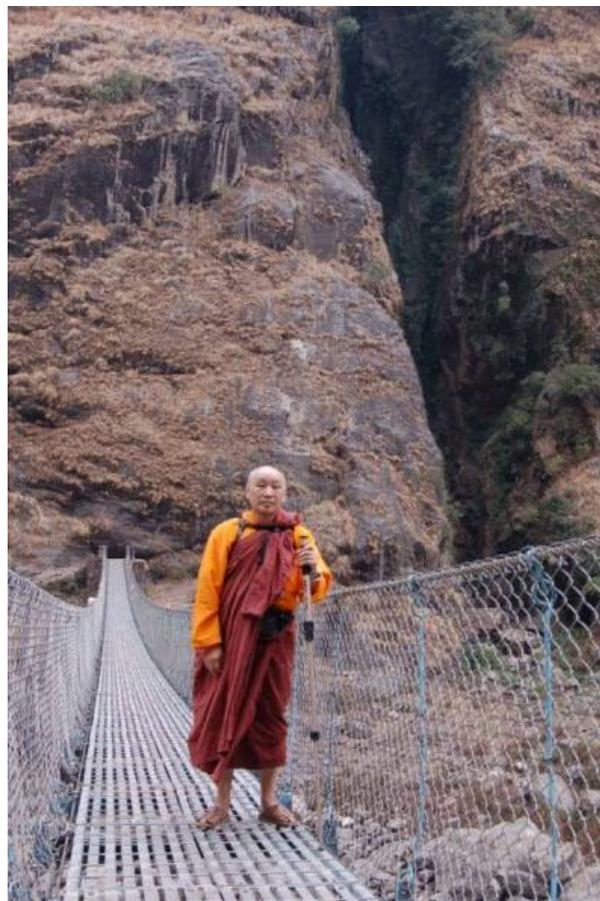
最終段階で試合に出ると言う、まあ負けても勝っても出るという事が大切で。それで沢山の人が「空」を観ているからね、名前は出さないけれども、こつこつと発表もしないし。結局温めて、温めて行けば何か突然、白隠禅師みたいにパーンとなるのでしょうね。

ところがその時に先生がいなければ、大変な事になる。自分が禅病に入ってしまうわけですね。ああ、私みんな分かった、これを引き戻すのが又大変な事でね、彼は運よく禅病から治ったけれども、癌以上に恐ろしい病気になってしまう。

強烈だから。だから死を求めるといふ事が非常に大切でね、私も韓国のお坊さんをお願いして善知識のお坊さんに探してくれと必死になって、まあ印幻先生もそうだけれども。

それで印幻先生は、もう瞑想もするし勉強もするけれども、やはり博士号を認可したり、大学の学者でしょ、忙しいでしょう？善知識と言われる人を探し出してやはりその方にあつたお陰で又バーンとエネルギーを貰つたというか。

まあ、そういう事ですね。経典にも書いてある。「善知識を探しなさい」と。本物をと云う。それがなかなか。居ると云つたけれども、ダラムサラでね、チベット語しかできなくて、まあ何もなければそこでするしかないしね。一生無駄にするよりは、まあ、そういう事です。



アナプルーナの道中にて・ネパール

水源禪師法話集 88

(2018年5月2日 山梨合宿6日目)

2019年3月5日発行

編集兼発行 一乗禪の会